



産地が協力し、ふくおか筑紫フードバンクに贈ったレタス。食料品を必要としている世帯の支援や食品ロスの削減を目指す（8日、大刀洗町で）

J Aみいは8日、ふくおか筑紫フードバンクにリーフレタス480キ（1800玉）を提供した。県のレタス産地6 J Aが協力。国の野菜緊急需給調整事業を活用し、相場が低

J Aみいリーフレタス480キ寄贈

## 産地6 J Aが協力、子ども食堂に

迷するレタスを寄贈した。新型コロナウイルス禍の影響などで、食料品を必要としている世帯の支援や食品ロスの削減に貢献することが目的だ。

福岡県フードバンク協議会の向居秀文さんは「レタスは子ども食堂を通じて、たくさん子どもたちにおいしく食べてもらおうと思えます」と語った。

J A全農ふくれん園芸総合対策課の高津剛課長は「コロナ禍で飲食店など業務需要の回復が遅れている中、野菜の生育は順調で市場入荷量は多く余剰が発生している。営農継続のためにも需給安定を促すこのような取り組みを産地協力し進めていきたい」と語った。（みい）